



製品安全データシート

会社名： コダック株式会社
担当部門： 産業・エアリアル機材事業部
所在地： 東京都中央区新川 2-27-1 住友ツインビル東館(〒104-0033)
電話番号： 03(5540)2255 FAX： 03(5540)2256

緊急連絡先： (財)日本中毒情報センター【中毒 110 番】
(事故に伴い急性中毒の恐れのある場合に限る)
9時から17時まで:0990(52)9899 (ダイヤル Q2 有料)
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 0298(51)9999
これ以外の時間帯:0990(50)2499 (ダイヤル Q2 有料)
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 06(6878)1232

MSDS No.000005369/F/USA/JP

承認日:2002年2月8日

作成日:2005年2月18日

1 製品名

コダック アキュマックス ラビット アクセス
デベロッパ&リプレニッシャー

CAT No.887556-9 5リットル ボトル
CAT No.662000-9 5リットル ボトル
CAT No.959180-1 5リットルx2 本入り

2 危険・有害性の分類

[原液] : 注意 : ハイドロキノン、亜硫酸カリウムを含有
皮膚、眼粘膜に炎症を起こす。誤飲すると有害。
皮膚にアレルギー反応を起こすことがある。

[使用液] : 注意 : ハイドロキノン、亜硫酸カリウムを含有
皮膚、眼粘膜に炎症を起こす。誤飲すると有害。
皮膚にアレルギー反応を起こすことがある。

3 物質の特定

混合物

(原液)

成分	重量%	CAS No.	PRTR 政令番号
水	65-70	007732-18-5	
亜硫酸カリウム	15-20	010117-38-1	
ハイドロキノン	8	000123-31-9	第一種 254 号
炭酸ナトリウム	1-5	000497-19-8	
臭化ナトリウム	1-5	007647-15-6	
エチレンジアミンテトラ	<1	000064-02-8	

(使用液)			
成分	重量%	CAS No.	PRTR 政令番号
水	85-95	007732-18-5	
亜硫酸カリウム	3-7	010117-38-1	
ハイドロキノン	1-5	000123-31-9	第一種 254 号
炭酸ナトリウム	<1	000497-19-8	
臭化ナトリウム	<1	007647-15-6	

4 応急措置

- 吸入した場合 : 症状が出たら、空気の新鮮な場所へ移動する。症状が続くならば、医療手当を受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに、多量の水で 15 分以上洗眼した後、医療手当をうける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに、汚染した衣服、靴を脱ぎ、多量の水と石鹸で洗う。皮膚に炎症やアレルギー反応が生じたら医療手当を受ける。汚れた衣服は充分洗ってから使用する。また、汚れた靴は、廃棄するか、完全にクリーンな状態にする。
- 誤飲した場合 : 医療機関若しくは中毒センターに連絡し、医師の指示に従い吐き出す。被災者が意識喪失の場合には、何も口から与えてはならない。直ちに、内科医の手当を受けさせる。

5 火災時の措置

- 消火手段 : 周辺の火災に応じ、適切な消火剤を使用する。
- 火災時の特別対応手段 : 保護衣と呼吸用保護具を着用する。火災や過度の熱により危険な分解物質を生じることがある。
- 有害燃焼物質 : なし。
- 異常火災 / 爆発の危険性 : なし。

6 漏出時の措置

多量の水で洗い流すか、パーミキュライト(断熱材料)や不活性物質に吸収させ化学物質廃棄用の容器に回収する。漏洩箇所を充分清掃する。

7 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 眼、皮膚、衣服に付着させない。気化したミストを吸い込まない。適度な換気をする。取扱い後は、充分に手などを洗う。非アルカリ(酸性)のハンドクリーナーを常用する。
作業場を清潔に保つ、手袋の着用により皮膚への付着を最小限にする。
- 火災或いは爆発の防止 : 通常の使用条件下では、特別な対策は必要ない。
- 保管 : 不適合物質(危険性情報を参照)から離す。密栓し保管する。

8 暴露防止措置

- 許容濃度 : ACGIH (TLV)
ハイドロキノン: 2mg / m³TWA
OSHA (USA) (PEL)

ハイドロキノン: 2mg / m³TWA

換気 : 換気の良い場所で取り扱う。(10 空気交換/時間)

呼吸器系の保護 : 必要なし

眼の保護 : 側板付き眼鏡または、ゴーグル型保護眼鏡の着用

皮膚の保護 : 不浸透性の手袋及び適切な保護着を着用する。

浄化する設備 : 洗眼、身体洗浄の設備(安全シャワー)を推奨する。

9 物理・化学特性

外観 : 液体

色 : [原液] 薄白色 [使用液] なし

臭気 : なし

沸点 : > 100°C

蒸気圧(20) : 24 mbar (18 mmHg)

蒸気密度(空気 = 1) : 0.6

揮発留分(重量) : [原液] 60-65% [使用液] 90-95%

比重(水 = 1) : [原液] 1.26 [使用液] 1.05

pH : [原液] 10.8 [使用液] 10.5

溶解度(水) : 完全

引火点 : なし(不燃性液体)

10 危険性情報(安定性・反応性)

安定性 : 安定

不適合物質 : [原液] 強酸
[使用液] 特になし

危険分解物質 : [原液] 二酸化炭素, 一酸化炭素, 二酸化硫黄
[使用液] 二酸化硫黄

危険重合物質 : 知見なし(発生しないと予測される)

11 有害性情報(暴露の影響)

吸入 : 正しく取り扱えば、危険性少ない

眼 : 眼粘膜に炎症を起こす。

皮膚 : 炎症を起こす。皮膚にアレルギー反応を起こすことがある。

誤飲 : [原液] 飲み込むと有害。
[使用液] 危険性は低いと予測される。

12 環境影響情報

(この項は、輸送中の不慮の事故などにより発生した漏出時の対応について述べるもので、下水道などに排出するための情報ではありません。)

この製品は、中庸のアルカリ水溶液で、自然環境へ悪影響を及ぼすと考えられますが、実際に試してはいません。以下の特性は、予測に基づいたものです。

予測される特性: 水質系に流出した場合、BODは中庸、酸素を破壊する可能性がある。水中生物への影響は大きい。
植物の発芽や初期の成長に影響を及ぼす可能性は中庸。
生物濃縮の可能性は低い。

多量の水で希釈すれば、直接間接的に自然環境に放たれても問題はないであろう。

13 廃棄時の注意

排水処理設備を所有していない場合は、全量を回収し、専門の廃液処理業者に産業廃棄物管理票（マニフェスト）を添えて処理を委託する。特別管理産業廃棄物には該当しない。

廃棄時に適用される法規

廃棄物処理法 : 産業廃棄物
水質汚濁防止法 : 生活環境項目
下水道法 : 下水の排除の制限

14 輸送上の注意

「6. 漏出時の措置」及び「7. 取扱い及び保管上の注意」の記載による。

国連番号(UN Number): -----

15 適用法令

下記参照

化学物質管理促進法(PRTR法) : ハイドロキノン (第一種 254号)

劇物毒劇取締法: -----

労働安全衛生法: -----

消防法危険物分類: -----

16 その他

このデータシートに記載された危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではありません。必要な情報を補足し、健康と安全、および環境保護に配慮した取扱い方法でご使用ください。